

57号～第60号・総目次

第57号 (2005年冬季号)

【論点説明】

- 「改革・開放」で中国はどう変わったか
平井 潤一

〈特集〉労働総研研究例会・シンポジウム

- 「春闘50年と05国民春闘の課題を考える」

〈国際・国内動向〉

- 実態を無視、縮小する05年度雇用予算
大槻 操
儀我社一郎
布施 恵輔
■公害問題の過去・現在と将来
■第5回世界社会フォーラム
■第2期プッシュ政権と世界、米国民との矛盾
岡田 則男

〈書 評〉

- 金澤誠一編著『公的扶助論』 杉村 宏

〈新刊紹介〉

- 柴山恵美子・中曽根佐織編著『EUの男女均等政策』 川口 和子
●板垣 保『検証 労働運動半世紀』 鹿田 勝一
●有働正治著『まちで雇用をふやす』 金澤 誠一
●飯盛信男著『サービス産業』 藤田 実
向笠良一先生の功績をふりかえる 吉井 清文

第58号 (2005年春季号)

日本経団連の改憲要求とその歴史的社会的責任

福田 静夫

〈特集〉拡大するEUの現状と課題

- 「労働関係からみたEU」早分かり 宮前 忠夫
■フランスから見たEU憲法 福岡 憲三
■アメリカ「単独主義」とヨーロッパの将来
平河 寛

〈国際・国内動向〉

- 改憲をめぐる情勢とたたかいの広がり 今井 文夫
■連合、全労連05春闘結果の評価と課題
鹿田 勝一
■イラク選挙後の中東情勢 尾崎 英紀
■労働総研創立15周年記念海外調査に参加して
斉藤 隆夫

〈書 評〉

- 平地一郎著『労働過程の構造分析』 藤澤 建二

〈新刊紹介〉

- 阿部芳郎著『ウィと言えない「ゴーン改革」』 坂ノ下 征稔
●大江流・三上満・小林洋二著
『憲法―人生をかけて守るもの』 小川 薫
●全労連編『世界の労働者のたたかい2005』 藤吉 信博

第59号 (2005年夏季号)

〈特集〉敗戦60年、憲法の今日的意義

- 核廃絶・改憲阻止における労働運動の新たな共同への模索と課題 西川 征矢
■京都「人権裁判」が問いかけているもの
金澤 誠一

〈共同研究報告〉

- 「埼玉県における勤労者の仕事とくらしの実態調査」
大須 眞治・原富 悟
■『グローバル化のなかの中小企業問題』「第4章・不況打開、地域振興運動と新たな挑戦」の執筆にあたり事例調査で見えてきた課題と展望
中島 康浩

〈国際・国内動向〉

- 国会で否定され、小泉首相が解散の口実にした郵政民営化は国民にとって何が問題か 廣岡 元穂
■アメリカ労働運動の行方 岡田 則男
■イタリア・フィアットの経営改善と労働者のたたかい
藤田 宏

〈書 評〉

- 吉田三千雄・藤田実編著『日本産業の構造転換と企業』 工藤 昌宏
●松丸和夫監修・労働総研編『グローバル化のなかの中小企業問題』 山本 篤民
●久野国夫編『産業と労働のニューストーリー』 鬼丸 朋子

〈新刊紹介〉

- 岩崎 俊著『NTT“50歳定年”リストラ11万人』 藤吉 信博
●丸山恵也編著『批判経営学』・角瀬保雄著『企業とは何か』 大木 寿
●森廣正著『ドイツで働いた日本人炭鉱労働者』 鈴木 ふみ

第60号 (2005年秋季号)

〈労働総研設立15周年特集〉

- 対談／設立16年「労働総研の活動と展望をめぐって」
戸木田嘉久・大木一訓
■労働総研・全労連共同調査「労働組合の活動実態と課題と展望」調査の経緯 大須眞治
■各プロジェクト・研究部会の現状報告(到達点と今後の課題)
■労働総研16年の歩み